

# 第2期山口県央連携都市圏域ビジョンの 方向性について



山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町

# (1)山口県央連携都市圏域ビジョンの取組状況

【第1期山口県央連携都市圏域ビジョンの現状】 計画期間 2017年(H29)～2021年(R3)

圏域が目指す将来像

互いに個性と魅力を高め、交流や雇用が生まれ、あらゆる地域に定住できる連携都市圏域

## 【第1期ビジョンに基づく主な取組】

### ○圏域全体の経済成長のけん引

- ・起業創業支援
- ・レノファホームゲームスタンプラリー
- ・ふるさと納税圏域版返礼品の造成
- ・海外販路開拓・事業展開セミナーの開催
- ・職業体験イベントの開催
- ・インバウンド誘客推進事業
- ・アートやスポーツツーリズムの推進
- ・山口ゆめ回廊博覧会の開催
- ・圏域情報の発信

など

### ○高次の都市機能の集積・強化


- ・二次救急医療体制の確保に向けた運営支援
- ・休日及び夜間における救急患者の医療の確保
- ・新山口駅、山口宇部空港を活用した情報発信
- ・新たなモビリティサービスの調査・実証
- ・大学等との連携
- ・COC+テクノロジー×アート講座の開催

など

### ○圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ・産科医確保支援、病児病後保育事業
- ・サイクルイベントの開催
- ・農林水産物の新たな販路確保・拡大
- ・消防団大学による若手消防団員育成
- ・地域公共交通対策
- ・山口県央連携都市圏域移住イベント
- ・スマート自治体の推進
- ・消防通信指令業務の共同運用

など

重要目標達成指標(KGI) 定住人口 目標 約60万人(R3)  実績 約60.6万人(R2.4.1)

計画期間最終年度となる令和3年度は、時期ビジョン(R4～R8)の策定に向けて、KGIの達成状況や圏域を取り巻く環境の変化などを踏まえ、継続する取組や新たな取組などを検討

第1期ビジョン(2017年(H29)～2021年(R3))

第2期ビジョン(2022年(R4)～2026年(R8))

K  
G  
I

定住人口

定住人口

7市町の“つながり”の強化

アフターコロナを見据えた取組に発展

第1期の主な取組

○インバウンドへの対応

- ・山口ゆめ回廊博覧会の開催

博覧会のレガシーを活かす取組  
マイクロツーリズムの促進  
コロナ収束後の観光需要の回復  
2025年(R7)関西万博に向けてインバウンド誘客の促進



- ・中小企業の事業承継支援

5商工会議所(山口、宇部、萩、防府、山陽)と5商工会(山口県央、徳地、くすのき、萩・阿西、美祢市)が連携協力協定を締結。



- ・その他の取組

移住・定住の促進に向けた取組  
やまぐち自治体行政スマートプロジェクトの取組  
消防通信指令業務の共同運用に向けた検討など

経済効果  
旅行消費額  
28億円増  
(2019年比)

○スマート圏域づくり

～デジタル化による地域課題の解決、圏域の経済成長～

- ・スマートシティ、企業のDX化の取組の推進
- ・行政のデジタル化に向けたスマート自治体の取組の推進
- ・データ連携基盤の構築による高度で利便性の高いサービスの提供など

メインテーマの方向性

◆第2期ビジョンにおける重点プロジェクトについて

第1期ビジョンのプロジェクトチーム(「経営革新・創業促進」、「新たな広域観光資源創出」、「農村魅力創出」、「圏域情報発信」、「広域交通拠点活用」、「移住・定住」、「地域人材育成」、「暮らしの価値創造」)の再編や、第2期のメインテーマの方向性における新たなプロジェクトチームの設置を検討

○インバウンドへの対応

第1期ビジョン

山口ゆめ回廊博覧会の開催



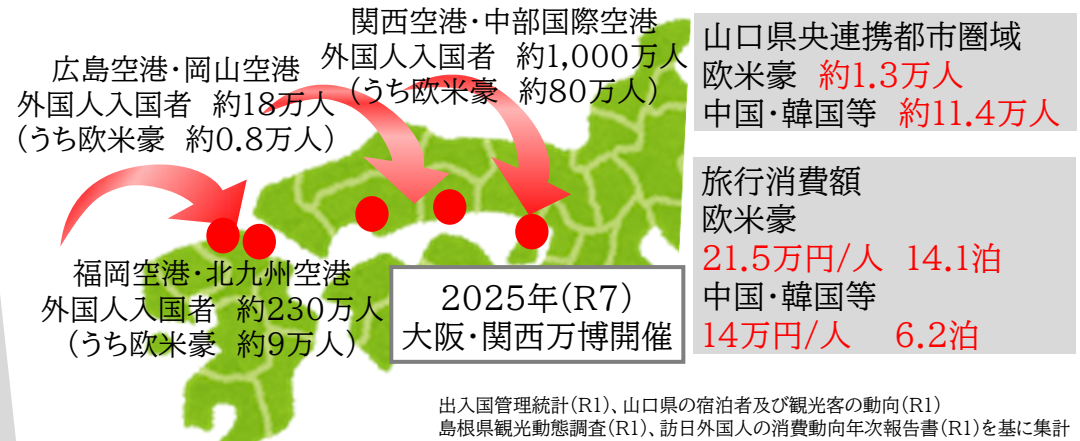
・7つのテーマそれぞれで7市町が連携  
(芸術、祈り、時、産業、大地、知、食)

新型コロナウイルス感染症の流行により  
メインターゲットを圏域周辺を中心とし  
た国内観光客に変更して実施

マイクロツーリズムの促進  
(圏域内を周遊する仕組みの構築)

第2期ビジョン

○インバウンドへの対応



圏域内へ欧米豪の観光客を取り込む

2026年(R8)目標  
欧米豪からのインバウンド  
2.6万人

経済効果  
旅行消費額  
28億円増(2019年比)

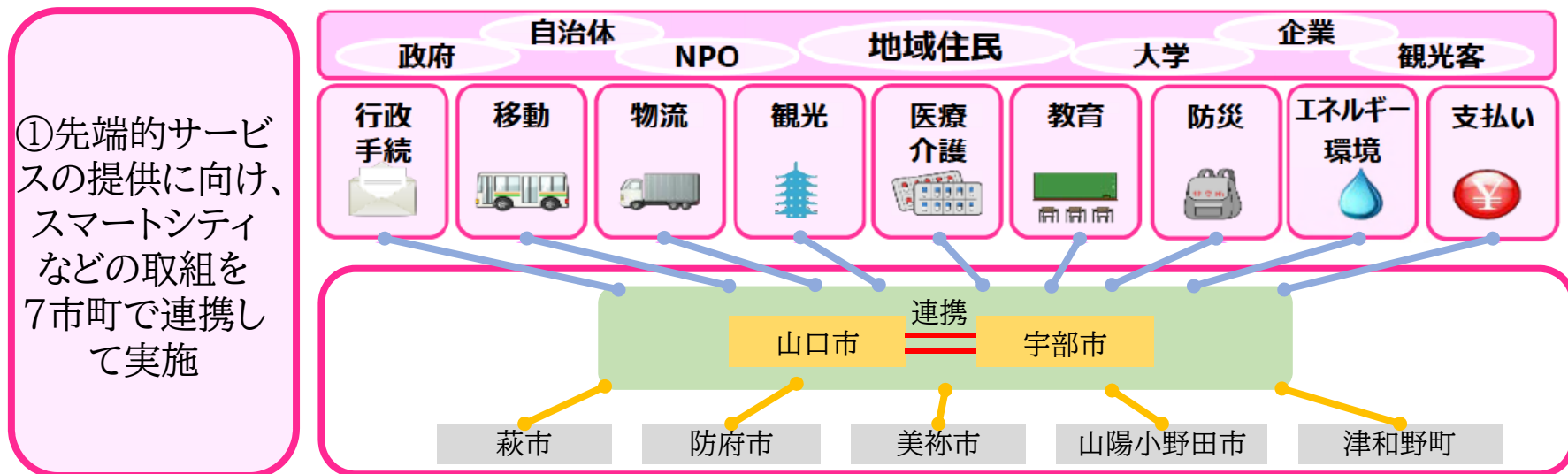
令和3年度 観光部局におけるプロジェクトチームを形成  
欧米豪からのインバウンド増に向けた取組を検討

- ・博覧会によって生まれた地域資源を活用
- ・大規模イベントの開催やコンベンションの誘致促進
- ・海外旅行業者との商談会の実施
- ・欧米豪向けコンテンツの造成、体験メニューの充実
- ・観光資源の磨き上げ etc...

## (2)第2期山口県央連携都市圏域ビジョンにおける主な取組の方向性について

### ○スマート圏域づくり ～デジタル化による地域課題の解決、圏域の経済成長～

圏域の7市町が連携し、新たな日常の原動力となるスマートシティやスマート自治体などの地域社会のデジタル化の取組を進めます。同時に、分野横断的にデータを連携し、高度で利便性の高いサービスを提供するために必要となる、データ連携基盤の構築を進め、地域課題の解決や経済成長を図り、圏域におけるSociety5.0への対応を進めます。



### ②データ連携基盤の構築

分野横断的にデータを連携することで、高度で利便性の高いサービスの提供が可能となる基盤(データ連携基盤)

### 地域課題の解決

- ・圏域住民の生活の質の向上
- ・あらゆる地域に定住できる圏域を実現

### 圏域の経済成長

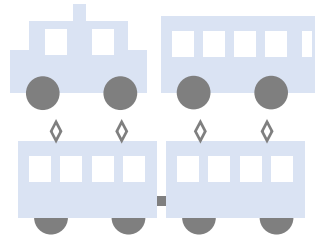
- ・圏域内での事業承継・起業創業の促進
- ・圏域の中小企業における事業活動の展開(新商品、新サービスの開発)

## (2)第2期山口県央連携都市圏域ビジョンにおける主な取組の方向性について

○先端的サービスの提供に向けたスマートシティや企業のDX化支援の取組を推進

(例)Maasやシェアサイクルと連携した取組

・日常生活の移動と観光周遊時の移動を解決



MaaS



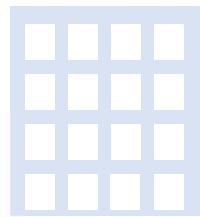
シェアサイクル



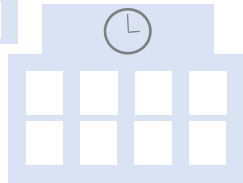
買い物



観光



通勤



通学

同時に、得られた情報を活用して、消費の傾向を分析し、新たな経営戦略に活かす

- ・地域内のスムーズな移動を実現
- ・公共交通の利用促進
- ・新たな観光周遊メニューの造成 など

(例)企業のDX化の取組

・業務のデジタル化による効率化  
・新たな成長領域への事業活動の展開・起業創業

DXの取組例



文書の電子化



キャッシュレス化



アプリの開発

山口市産業交流スペース  
Megriba (R3. 4供用開始)



萩市ビジネスチャレンジ  
サポートセンター(はぎビズ)



宇部スタートアップ



防府市中小企業サポートセンター  
CONNECT22



事業承継等の支援に加えて、DX化の支援も検討

- ・正確で迅速な情報分析
- ・少ない人員で業務を維持・発展
- ・デジタル人材の育成、新たな雇用の創出

令和3年度  
プロジェクトチームでの検討を進め、第2期ビジョンの策定を行う

令和3年

1月下旬 第2期山口県央連携都市圏域ビジョン策定に向けた幹事会の開催

2月4日 推進協議会の開催(テレビ会議)

3月 幹事会の開催、ビジョン懇談会の開催

4月 **メインテーマの方向性におけるプロジェクトチームの立ち上げ**  
第2期ビジョンの具体的な取組を検討  
幹事会を随時開催

8月 ビジョン懇談会や推進協議会の開催(1回目)

11月 ビジョン懇談会や推進協議会の開催(2回目)  
次年度予算及び第2期ビジョン案の検討

令和4年

3月末 第2期山口県央連携都市圏域ビジョンの公表